

越前町小中学校の再編についての地区懇談会 結果概要  
(常磐小学校区：区長・就学児保護者対象)

- 開催日：令和5年2月27日（月）午後7時～9時2分
- 場 所：越前町生涯学習センター
- 参加者：区長5名、就学児保護者6名
- 内 容：常磐小学校の再編についての意見交換

**主な意見と回答**

(参加者) 区民の意見はどうか。アンケートなどあるのか。

⇒ (教委) これまで、区民を対象にした説明会など開催しているが、アンケートは行っていない。

⇒ (参加者) 保護者の多くは参加していると思うが、区民の参加はまだ少ないのではないか。

⇒ (教委) 一昨年から回を重ねて懇談会などを行っている。本日はこれまでの意見を踏まえた資料としてご理解いただきたい。

⇒ (参加者) 児童や保護者は賛成なのか。

⇒ (教委) 就学児保護者からは残して欲しいという意見もあるが、未就学児保護者の意見では出来るだけ早く再編して欲しいと聞いている。

(参加者) 有識者会議で提言を受けたにもかかわらず、令和 11 年度まで再編を延ばすことはそれでよいのか。糸生小学校と時期を早めて足並みを揃えることはできないのか。

⇒ (教委) 常磐地区の中で、いろいろな意見を踏まえた方向性が3校同時再編であり、もともと糸生小学校の再編の時期が令和 11 年度であったため、このような方針となった。今後、再編の協議を行っていく中で、前倒しという話も出てくると思うので、令和 11 年度が絶対ではない。

(参加者) 糸生小学校と一緒に再編することは決まったことなのか。

⇒ (教委) 教育委員会の考えであるが、懇談会でもそのような意見も出ているので、両校との話し合いの中で決めていきたい。

(参加者) 再編の年が決定するのは、その何年前になるのか。令和 7 年度であれば令和 5 年度に決定するのか。

⇒ (教委) 準備期間に2年程度必要だと考えるので、令和 11 年度であれば令和 9 年度から準備を進めることになる。

⇒ (参加者) 令和 7 年度の場合、今年度決定がなければいけないと考えてよいか。

⇒ (教委) 令和 5 年度中に方針が決定した場合、最短で令和 8 年度と考える。

(参加者) 糸生小学校区からも同時再編を望む声があるとのことだが、どこでその声を聞いたのか。

⇒(教委) 糸生小学校区でも何度か懇談会を開催しており、その中で意見が出た。学校側としても1回で行った方が負担も少ないという配慮もあり、3校同時再編でなるべく早く進めてもよいかということで、今日お話をさせていただいた。

⇒(参加者) 朝日小学校は、老朽化が進んでいるように感じるが、リニューアルなどする考えはあるのか。

⇒(教委) 昭和57年建設でもあることから、大規模改修かリニューアルになるか、当然検討しなければならない。

⇒(参加者) 耐震は大丈夫か。

⇒(教委) 問題ない。

(参加者) これまでの私たちの意見に配慮いただいたことは、ありがたいと思っている。今日の話のとおり再編することは間違いないということか。

⇒(教委) 全員の意見が一致して進めていくことは不可能だと思う。子どもたちの教育環境を考えるとご理解いただきたいと思うが、強引に進めるわけにはいかないなので、なるべく多くの理解を得ながら進めていきたい

⇒(参加者) 最初から朝日小学校へ行けるよう指定校変更制度の見直しを行い、もっと早く柔軟に対応して欲しい。

⇒(教委) 令和5年度では既に入学準備も終わっているため、令和6年度が指定校変更の適用年度の最短と考えている。

(参加者) 朝日小学校を選ぶ保護者も少なくないと思う。そうすると今よりも児童数が減り、学校として成り立つか不安だ。

⇒(教委) 減る可能性はあると思うが、再編が決まるまでは学校を続けていく考えている。本当にいなくなってしまうのであれば、休校も検討しなければならない。

⇒(参加者) 朝日小学校へ行く場合、スクールバスを出すのか。

⇒(教委) スクールバスでの対応を考えている。

(参加者) 在校生の兄弟も朝日小学校へ行く場合があると思うが、極端に減った場合、先生の問題や学校行事など問題が出てきて、子どもたちも寂しい思いをするのではないか。

⇒(教委) 朝日小学校と一緒にいるまでは、閉校は考えていない。学校行事については、地域と学校、教育委員会がお互い話をして、出来るところはやっていただくなど、話し合いをしながら進めていくしかない。

(参加者) 指定校変更を認めた場合、通学手段はどのように考えているのか。教育委員会が公認であるため、スクールバスも考えているのか。

⇒(教委) スクールバスで対応したいと考えている。

⇒（参加者）現在、常磐地区から朝日小学校へ通っている児童も乗れるのか。

⇒（教委）乗れるようになる。

（参加者）5年も再編を先延ばししたことは嬉しいと思えない。その間、指定校変更で朝日小学校へ行く児童も多いと思うし、スクールバスを出すことについても、ありがたいが寂しい気もする。

⇒（教委）令和11年度は、糸生小学校再編の時期に合わせたものであり、お互いの学校区の話し合いの中で時期を決めていきたいと思う。最長で令和11年度と考えて欲しい。

⇒（参加者）これまで、学校跡地についてもいろいろ意見があったと思うが、これから考えていくということか。

⇒（教委）まずは子どもたちのことを第一に考えたい。再編が見えてくれば、跡地活用を検討し、閉校後利活用ができるよう遅れることなく進めていきたい。

（参加者）常磐小学校の児童数の見込みが、一昨年に示された人数より減っており、また令和10年度の朝日中学校の人数を見ると、改めて少子化が進んでいると感じた。昨年、保護者アンケートを行い、糸生小学校との同時再編が4割であったが、このことに配慮いただき感謝している。指定校変更については、糸生小学校や他の地区においても考えられることなのか。

⇒（教委）現時点では常磐小学校と朝日小学校の間のみで考えている。今後他の地区の再編の検討が進めば、同じような話が出ると思うが、検討委員会の中で話を詰めていきたい。

⇒（参加者）保護者アンケートで小規模特認校のような小規模校を残す検討を望む声が多かった。他の地区の意見でも、跡地活用で不登校児童に対応した施設の要望もあったことなど、大きい学校に馴染めない子どもや不登校児童を呼び込むことなど、まちづくりの一環として考えて欲しい。常磐小学校もあと数年続くのであれば、不応適の子どもたちの再チャレンジの場として検討いただけるとありがたい。また、学校のリノベーションも良いが、他の市町から移住したくなるような新しい学校を思い切って作ることも検討いただきたい。

⇒（教委）越前町でも不登校の子どもが増えていることもあり、学校を学校として残して欲しいとの声もある中で、県との不登校特例校についての協議も必要だと考える。

（参加者）年度途中になって指定校を変更することも可能か。

⇒（教委）年度途中や進級する場合も可能と考えている。本来なら、その時の在校生できちんと閉校式をすることが望ましいと考えていたが、未就学児保護者の方から朝日小学校へ行きたいという切実な声を最大限重要に考え認める決断に至った。

（参加者）指定校変更によりスクールバスを出すことは、朝日小学校へ行く流れをつけるイメージに感じる。

（参加者）常磐小学校は令和11年度までもたず、自然消滅するのではないか。数人残ったところで児童が可哀想だ。

(参加者) 教育委員会の都合の良い保護者だけに聞いて、甘い汁を吸わせているだけではないか。常磐地区には教育委員会のやり方はおかしいと、再編に反対している人もいる。

(参加者) 近くに小学校があるのに、なぜわざわざスクールバスで朝日小学校へ行かなければならないのか。何のための指定校か。

(教委) 私たちは閉校式をしてけじめをつけたかったが、未就学児保護者の切実な思いを聞いている中で、それをどうにかしてあげるには、指定校変更で対応するしかないと考えた。教育委員会が認めたということは、児童の安全のためにもスクールバスで対応するべきだと考えた。

(教委) 今日の話は、このように進めさせてよろしいかということでお集まりいただいた。まだ未就学児の保護者には伝えていないので、後日、この話をさせていただく予定でいる。

(参加者) 保護者が望むのなら仕方ない思いもあるが、スクールバスまで出すことが腑に落ちない。スクールバスを出すことは重要な選択肢であり、明らかに再編を早める流れとなる。

(参加者) 主役は子どもである。教育委員会として子どもの安全を第一に考えてのことだ。

(参加者) 安全を考えるのなら常磐小学校へ通えばよい。

(参加者) それでは根本的な話が変わってしまう。

(参加者) 保護者と子どもの考えが大事だ。歴史は変わるものである。

(参加者) 最長でも令和 11 年度であるということは、前倒しはあっても後送りはないのだから、私たちはこの5年間をどう過ごすか、子どもや保護者のことを考え意見を出してあげるべきだ。

(参加者) 子どもの意見も大事ではないか。

(参加者) 子どもの意見を吸い上げるのは保護者だ。

(参加者) 保護者は自分の都合のよいことばかり言う。100 年以上の伝統のある学校を潰してしまう感じがする。

(教委) 指定校変更を認めることは抵抗があったが、どのように保護者の声を救うことができるのかということであった。教育委員会として、自分で行ってくださいというのはあまりにも無責任だと考えた。今日の意見のように、指定校変更はやむを得ないが、スクールバスを出すことについてはどうかということであれば、考えたい。

(参加者) 保護者の方はどう思われるか。

⇒ (参加者) 流出の歯止めがかからなくなる感じはする。一番悩まれるのは、低学年、保育所の保護者ではないか。

(参加者) この制度で、朝日小学校から常磐小学校へ行くことは出来るのか。

⇒ (教委) 今回は再編を理由としたものと考えている。従来の制度であれば、朝日小学校から常磐小学校へ行くケースもある。スクールバスは出していない。

⇒ (参加者) 常磐小学校から朝日小学校へのスクールバスを出すのなら、朝日小学校から常磐小学校へ行く場合にもスクールバスを出さないと、説明がつかないのではないかと。不登校特例校にすれば、町内どこからでも通学できるので、常磐小学校も存続するのではないかと思う。

(参加者) 再編する時期を決めたほうがよいのではないかと。決定したことは令和 11 年度なのか。

⇒ (教委) 令和 11 年度までに再編することは決定と考えている。

⇒ (参加者) 再編を早める覚悟はしているが曖昧な感じがする。

(参加者) スクールバスを出してどこの学校へ行ってもいいとなれば、誰が常磐小学校に残るのか。保護者の方、残りますか。

⇒ (参加者) 残らないだろう。

⇒ (参加者) 反対している方でも残らないと言っている。

(参加者) スクールバスを出さないとした時に、子どもの安全は誰が守るのか。

⇒ (参加者) 保護者だ。

⇒ (参加者) 保護者が出来ないから言っているのではないかと。

⇒ (参加者) 常磐小学校に行けばいい。

⇒ (参加者) 保護者や児童に任せればいい。スクールバスの議論をこの場でするのはおかしいのではないかと。

(参加者) いつの間にか児童がいなくなって、廃校などという考えではないのだろうか。

⇒ (教委) そのような考えはない。

(参加者) このことが公開されていくと、糸生小学校の保護者も言ってくるのではないかと。

⇒ (教委) 糸生小学校区の懇談会などではそのような話は出てこなかった。

⇒ (参加者) 令和 7 年度なのか、令和 11 年度なのか、保護者も不安だと思う。この 1 年間、丁寧に進めてきたと思うが、早く決めて欲しい。

⇒ (教委) スクールバスの件については、今度の未就学児保護者の懇談会で話題として話をさせていただくので、よろしくお願ひしたい。